

大阪医科大学 後期		2009	2010	2011	2012	2013	予想	
物質の構成	物質の構成	1 純物質, 混合物, 分離操作	○3蒸留実験	○3装置, 器具	○3器具		△	
		2 単体, 化合物, 同素体		○2				
	原子の構造		3 周期表					
			4 原子の構造, 電子配置					
			5 同位体, 質量数					
			6 イオン化Eと電子親和力					
			7 原子の結合と結晶の性質					
	化学量と反応式		8 溶液の濃度			○3濃度調整	○1モル濃度	△
			9 化学反応式と量的関係	○2	○2		○3反応式	
			10 化学の基本法則, 化学史					
物質の変化	化学反応と熱	11 熱化学方程式とヘスの法則		○4	○4		△	
	酸と塩基	12 水素イオン濃度とpH	○4					
		13 塩の分類						
		14 中和滴定の計算と指示薬	○2二段中和, 混合物				○3	
		15 中和滴定の実験操作	○2					
	酸化と還元	16 酸化・還元の定義						
		17 酸化数						
		18 酸化剤・還元剤						
		19 酸化還元反応式		○2				
		20 酸化還元滴定						
	金属のイオン化傾向と電池	21 電池の原理, イオン化傾向						
		22 ダニエル, マンガン乾電池						
		23 鉛蓄電池						
		24 燃料電池, その他の電池						
	電気分解	25 ファラデーの法則					○2	
26 水溶液の電気分解		○4						
無機物質	典型元素とその化合物	27 12~16族元素とその化合物			○4Caと化合物			
		28 17族元素とその化合物				○2Ag塩, 写真		
		29 典型金属と化合物の性質						
		30 非金属元素と化合物の性質						
	遷移元素とその化合物	31 遷移元素の性質						
		32 遷移元素を含む化合物						
		33 錯イオン, 錯体			○3			
		34 金属元素の性質						
	イオンの反応	35 イオンの反応			○3			
		36 陽イオンの分離, 確認			○3			
単体, 化合物	37 気体の製法と性質							
	38 無機化学工業							
有機化合物	有機化学の基礎	39 元素分析, 分子式の決定		○3				
		40 構造式の決定		○3		○2	△	
		41 異性体			○2	○2	△	
	脂肪族化合物	42 官能基の性質と反応		○3検出反応				
		43 炭化水素の構造, 反応様式		○2オゾンド				
		44 アルコールとエーテル						
		45 アルデヒドとケトン						
		46 カルボン酸, 酸無水物						
		47 油脂, セッケン, 合成洗剤						